

## 会議録（要旨）

### 【開催概要】

会 議 名 称	第19回泉大津市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和3年2月4日（月）10：00
開 催 場 所	泉大津市役所 3階 大会議室
出 席 委 員 (名簿順表記)	長瀬委員（会長）・久委員（副会長）・川西委員・村田委員・萩上委員 澤田委員・伊藤委員・亀谷委員・松田委員・能勢山委員・平委員・秦委員 納谷委員（計13名）
欠 席 委 員	大橋委員・田中委員
事 務 局	丸山教育部長、川口健康福祉部長、藤原健康こども政策統括監 堀田子育て応援課長、里見こども育成課長、深澤障がい福祉課長 金原指導課長、内田教育政策課長、濱辺スポーツ青少年課長 寒福祉政策課長、参上こども育成課長補佐、小島こども育成課長補佐 子育て応援課：谷本、竹村
会 議 次 第	1. 開会 2. 案件 (1) 泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画について (2) 泉大津市児童発達支援センター整備について (3) 泉大津市の子育て環境の現状について (4) 放課後児童健全育成事業（仲よし学級）について (5) その他 3. 閉会
配 付 資 料	1. 泉大津市立戎保育所の廃園について 2. 条東保育所・条東幼稚園の統合による民間認定こども園の整備について 3. 泉大津市児童発達支援センター整備について（案） 4. （R2）泉大津市の子育て環境の現状について 5. 留守家庭児童会（仲よし学級）の延長保育等について（報告）
公 開 / 非 公 開	公開
傍 聴 者	3名
その他の必要な事項	なし

## 【議事要旨】

事務局	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・会議成立要件の確認（委員 15 名中 13 名が出席のため成立）</li></ul> <p>2. 案件</p> <p>(1) 泉大津市就学前教育・保育施設再編実施計画について</p> <p>●案件説明の前に、前回会議後から計画策定までの経過を説明します。会議後、長瀬会長一任のもとで計画案を修正し、令和2年8月11日から9月10日の1か月間パブリックコメントを実施しました。21人の方から54件のご意見をいただき、内容と市の考え方については委員の皆様へ送付させていただいたとおりです。その後、10月2日に長瀬会長から計画策定についての答申をいただき、答申の計画案をもって令和2年10月、就学前教育・保育施設再編実施計画として決定しました。</p>
事務局	<p>●資料1、資料2に基づき説明（こども育成課）</p>
会長	<p>◇この件についてのご意見やご質問をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>◇再編実施計画の前倒しになると思うが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で今までと違った生活をせざるを得ない状況の中、計画を前倒して実施するのであれば、今後の保育ニーズの高まりや、感染対策をしながらの保育・教育の在り方も見据えて、子育て家庭の状況の変化を丁寧に見て、柔軟に対応してより良いものとしていただきたい。今回出ている条東については地域の子育て支援にも力を入れていますが、今までと同じような子育て支援を準備していただけるのでしょうか。認定こども園になるのであれば、積極的に子育て支援を実施していただきたいと願います。</p>
事務局	<p>●現状で行っている子育て支援事業については、可能な限り引き続き実施してもらえよう事業者の公募の仕方を考えていきたいと思っています。</p>
会長	<p>◇現在の保護者への説明会だけではなくて、子育て支援の必要な地域の方々にも情報が伝わるようにすれば安心されるのだと思います。</p>
副会長	<p>◇募集要項、評価基準をどうするのが、事業者がどのような提案をするかの一番大きなポイントだと思います。施設の事業だけではなくて、地域全体の子育て支援の中で、どのようにその事業を位置づけるのかという観点がとても重要になる。その観点を提案の中に盛り込んでもらうようにすれば、安心して事業者選定ができるのではないかと思います。少し工夫をお願いします。</p>

	(2) 泉大津市児童発達支援センター整備について
事務局	●資料3に基づき説明（子育て応援課）
会長	◇この件についてのご意見やご質問をいただきたいと思います。
委員	◇泉大津市の子どもが他市の園に通っている場合もあると思いますが、他市の園に通う子どもが週に何日かは泉大津の児童発達支援センターに並行して通所するという事は可能なんですか。
事務局	●今実施している幼児・親子教室では並行通所は認められておりません。ニーズや定員とのバランスを考えながらということになり、今後の検討だとは思いますが、現在のところは1か所を重点的に通っていただくことを想定しています。
会長	◇引き続き可能性も含めて検討していただければと思います。
委員	◇幼児・親子教室は泉大津市がされているのでしょうか。今度センターが民間の事業者へ委託ということで、配慮が必要なお子さんが通われるセンターで、経験やノウハウを持つ民間の事業者というのはたくさんあり、その中から選ぶのでしょうか。それとも少ない中から選ぶのか。なぜ民間なのかと、選択肢の少ない中では質も変わると思うので、その辺りが疑問に思います。
事務局	●現在の幼児・親子教室も市の事業ではありますが、運営は民間事業者へ委託しています。スキルも必要になるので、非常に限られた事業所になるのかと思います。公設民営をめざしており委託にはなりますが、行政ともしっかり連携して適切な運営を図れるように、安定した保育ができるようにやっていきたいと考えています。
会長	◇市の事業として行うものだけれど、経験がありノウハウを持っている事業者へ実際の業務を担当していただく。そこで必ず市が連携しながら責任をもって運営していくということですね。
委員	◇私も民間でいいのかというのは思いましたが、児発センターに大きな期待が寄せられる中で、それぞれの障がいに応じた対応をしていかなければなりませんので専門性が非常に求められるものだと思います。そういう意味では、ずっと関わってきたような専門職がいらっしゃるところにお願いせざるを得ないのかなと思います。市では難しいだろうなというのが率直な意見です。
委員	◇保育所等への訪問支援というのも入っているので、現場の先生たちも相談できる

	<p>ような場所が同じ市にあるということで心強いと思います。家族支援についても非常に大事だと思いますので期待しています。</p>
<p>会長</p>	<p>◇どうしても発達支援の部分が注目されますが、センターである限り当事者の子どもたちへの支援だけではなく、相談支援から地域支援まで幅広い支援体制の項目があがっているというところが、センターの機能をよく表していると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>◇資料に「本市では福祉と教育が一体となり」と書いてあり、すごく安心しました。現在では「社会的に支障をきたすか、きたさないか」というところが診断基準に入ってきています。この診断基準ですと、福祉のカテゴリーからはこぼれ落ちてしまう子どもたちが必ず出てきます。そうすると、児童発達支援センターに行けないけれども発達に特性を持っている子どもが保育所に、今までも多数いらっしゃると思います。そのまま小学校に上がった場合、教育の面でサポートしていかないとならない部分もたくさんあるのかなと思っています。多くの人が少しずつでも、発達に偏りのある子どものことを知っているという土壌を作っていくことが、子どもたちやご家族が安心して子育てできる環境に近づくんじゃないかと思っていますので、よろしくお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>◇成長に伴う切れ目のない支援というのが重要な柱になってきて、成人された後も支援が必要であるということ言えば、地域との連携も非常に重要な視点ではないかなと思います。地域の団体さんや、地域でずっと子どもさんの成長に応じて共に支援をしてくださるような方々との連携なんかも重要視していただきたいかなと思います。そういう観点の提案もしていただければいいかなと思います。そういう観点の提案もしていただければいいかなと思います。そういう観点の提案もしていただければいいかなと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>◇確認ですが、福祉と教育が一体になったということですので、医療型ではなく福祉型でということと、改修の際に、一定のバリアフリーというところまでは考えているのかどうか。あるいは場所的に車利用も必要かと思っていますので、駐車場の状態などもご説明いただけますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>●改修工事の内容は、トイレ改修やバリアフリー化は必要なものと考えております。また、車が多数行き来するところではなく、大型車は通りにくいところにはあるんですが、駐車場の整備も敷地の中で可能なかたちでとっていきたいと思っています。改修内容は今後もしっかり検討していきます。</p>
<p>委員</p>	<p>◇認定こども園では小学校への接続ということがよく言われる中で、小学校との関係をどうしていくかということも考えた対応をしていただきたいかなと思います。定員が30名ということですが、スタッフ的にはどんな方がどれくらいのつもりでいるのでしょうか。</p>

事務局	<p>●現在も子育て応援課に発達支援担当がおり、配慮、支援が必要なお子さんに対しての小学校への引継ぎについては、かなり丁寧にさせていただいているのかなと思っています。センターが開設された際には、センターの職員も含めて引き継いでいくことが重要な部分であると認識していますので、より充実させていきたいと思っています。スタッフは、国のガイドラインで配置基準があり、10人までで児童指導員が2人以上です。これはあくまで最低基準ですので、運営に当たっては安全に保育していくための配置が必要で、公募の際の提案の中で決まっていくと思っています。安全に保育ができるために必要な人員というところは求めています。</p> <p>●少し補足させていただくと、直接的な支援は就学前の2歳から5歳というところになります。児童発達支援センターは地域の中核的な拠点として、保育所等訪問支援では保育所に行くだけではなく、小・中学校にも出向いて先生方の相談を受けたり、支援の在り方へのご提案をしたり、そういう機能もあります。そういった点で、就学後についても関わっていけるようなかたちとなっています。また、相談支援員の配置も求められることになっており、地域の障がい児の支援機関との連携や、保護者の生活面での相談、学校からの相談を受ける機能もあります。地域との関わりも深い、重要な拠点になっていくものと考えております。</p> <p>(3) 泉大津市の子育て環境の現状について</p>
事務局	●資料4に基づき説明（子育て応援課）
会長	◇この件についてのご意見やご質問をいただきたいと思います。
委員	◇8ページの「いじめ認知件数」、9ページ「通告件数」を見ていると、非常に増加しているように見られるかと思えます。右肩上がりになっているのは決して良い数字ではないんですが、たとえ小さなことでもあげていこうという方針で増えているということも知っておいていただきたいと思えます。たとえ小さなけんかでも将来いじめにつながるかもしれない、そこまで考えてということ。件数が増えていることを単に悪いというふうには捉えていません。
会長	◇早期から積極的に取り組んでいただいた結果として数が増えているということでお話いただきました。
委員	◇11, 12 ページで1号認定は実績が増えているが、2、3号認定は実績の方が少なくなっているのは、どういった原因か。保育の需要は高まっていると思いますが、実績が少なくなるのは待機が多いということに関わっているのでしょうか。

事務局	<p>● 2、3号で実績値が落ちているのは、待機児童を出していることが原因であるのは間違いありません。保育士不足が、その要因のひとつと考えています。1号が増えている部分については、認定こども園化の中で、働きながらも子どもを育てていくうえで、幼稚園に加えて認定こども園での需要の1号の増加というものが大きいのではないかと考えています。</p>
会長	<p>◇就労しつつの1号認定ということも認定こども園の中で可能になってきていることと、保育士不足でカバーできていない部分があるというお答えだったかと思えます。</p>
委員	<p>◇待機児童がいいとは言えないですが、今年度に限っては密を避けるといった点で考えると、園児が少ないことが功を奏したと言える部分もあったのではないかと思えます。</p>
副会長	<p>◇今回は速報ということで数値を説明していただいたのかなと理解しています。なぜその数値になったのかというところの説明を来年度はぜひやっていただく。市役所側として推測は言いづらいというところがあるかと思いますが、市としてはこう考えています、こう読み取っていますというような話も含めて報告いただくと、聞いている方はよりわかりやすくなるのかなと感じました。コロナの件も、今年度1年間のいろんな経験をお持ちだと思いますので、今後このような状況がまた起こってもなんとか乗り切れるようなノウハウ蓄積という意味でも、聴き取り調査も踏まえて記録として残しておくのと来年度評価の時にも参考資料となりますし、計画見直しの基礎資料にもなりますので、聴き取りも含めてしっかりと調査をしていただければありがたいなと思います。</p> <p>保育所の充足率はそれほどでもないが、こども園の充足率がかなりアップしているように見られる。これは、市民ニーズがこども園の方にどんどんシフトしていると理解すればいいのでしょうか。そうすると、再編計画の中でもこども園化をしていくという流れがちゃんとデータとしても位置づいてくるので、そのような読み取り方でいいでしょうか。</p>
事務局	<p>●担当の実感としても、こども園へシフトしていているという傾向はあります。働き方も多様化し、幼稚園の時間帯や通園のかたちを望む保護者もおられる中で、働きながらも幼稚園に通いたい。公立幼稚園でも一時預かりをしています。こども園だとクラスにそのまま残ってできます。特別に違う部屋に集めてという、子どもたちにとって負担のないように預りができる。そうすると、働く保護者は子どもに負担をかけていないというところで、気持ち的に働く方への意欲へつながる。そういったところで、こども園の需要が増えているのかなと思っています。</p>

副会長	<p>◇その辺りのことが、この数値からは見えてこないですよ。こども園が付加的なサービス提供をしていることによって、多様なライフスタイルに適応できているんだということが、もう少し数値的にもわかったら説得力が出てくるのかなと思いました。来年度の報告のときに、ベースとしては今のこのデータなんですが、こうじゃないかという推測が見えてきたときに、推測を推測ではない段階にするためにどういうデータを使えば説明できるか、その辺りを補足していただくと、より充実した評価ができると思います。ベースから読み取った推測を裏付けるためのデータを追加していくようなかたちで評価を充実していただくと、より説得力のある評価になるのかなと思います。</p>
会長	<p>◇初年度ですので今回は現状の報告ということを中心にさせていただいて、次年度の報告の際に、今出たようなご意見を反映させていただければと思います。</p>
<p><b>(4) 放課後児童健全育成事業（仲よし学級）について</b></p>	
事務局	<p>●資料5に基づき説明（スポーツ青少年課）</p>
会長	<p>◇この件についてのご意見やご質問をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>◇長期休業期間については、例えば穴師小学校へ行っている子どもも、利用したければこの小学校に行って利用できるということでしょうか。</p>
事務局	<p>●おっしゃるとおりで、2校限定になっておりますが、別の校区からでも希望の学校に申し込んでいただくというかたちになります。</p>
委員	<p>◇認定こども園は7時から開園しておりまして、7時過ぎにすぐ登園がスタートするわけですけど、1年生が登校の8時までの間で困っているということがあります。後ろを延ばしていただいたんですが、朝の方は延ばすとか、これからの計画はどんなものでしょうか。</p>
事務局	<p>●後ろの延長については、近隣各市すべて7時までとなっております、うちが遅れていましたので解消することになりました。朝7時の開設というところについては、近隣各市も見回してもそういうところありません。もちろん、ニーズがあるところを確認はしていますが、そのニーズがどこまでなのかということもありますし、現状では考えていないということです。</p>
副会長	<p>◇やはり特徴ある施策が打ち出されると、子育て世代もそこに住まおうかなという</p>

	<p>気になりますよね。周辺市を見てこうだから横並びということではなくて、率先して泉大津市が他の地域よりもサービスの質を上げていくことによって、移住も増えてくると思います。今までどうしても横並びと考えちゃうんですけど、1歩先んずる戦略がいくつないと、移住というのはおこらないだろうなと思いますので、今後検討していただければと思います。</p>
事務局	<p>(5) その他</p> <p>●特になし。</p>
委員	<p>◇ずっと聞かせてもらっていると、これは事実上園区がなくなるというように捉えましたが、そういう考え方でいいのでしょうか。そうすると、自由競争になってくる。今日も「質」ということがずいぶん出されていたと思うのですが、今回の資料では何も触れられていない。教頭がいないとか養護教諭がいないとか、そういう現実もあります。それを今後どうしていくのか、そういうところがあると、保護者にも安心してもらえるのかなと思います。きれいな建物ができても、やはり中身の充実ということだと思います。もしかすると保護者は人で選ぶような時代になってしまうのかなとも考えます。そうではないということがしっかり打ち出されて、どこを選べば自分の子どもに合った教育・保育を受けられるのかという視点を持ってやっていただくと、小・中学校へ引き継ぐときにもありがたいのかなと思います。</p>
事務局	<p>●園区がなくなり競争の概念が入ってくることによる職員の負担という理解で言えば、園区については既に撤廃しておりまして、5年以上になるかと思います。そういう中での混乱というのは特に感じておりません。保育士不足による職員の負担については懸念しているところで、施設再編の中で十分に力を発揮できる規模にしていきたいと考えています。</p>
委員	<p>◇保護者は学区で見えており、その学区の中で通わせたいという目線もあります。園区がないからどこでもいいと言われても、その地域の中で小学校に上がるという感覚が強いです。しっかり周知していかないと、他の園に行きたいという人は少なくなるんだと思います。また、資料2で気になることが、令和4年3月に廃園して4月に3歳児からの認定こども園として開園となっていますが、認可はおりますか。認定こども園として認可がおけるのは、0歳児から全部見られるのかたちだと思うので、認可がおけるのか心配です。</p>
事務局	<p>●再編実施計画でも記載しているように、公民関わらず小学校区で区切って年次計画を考えておりますので、この小学校区でどこかの園に行きたいというときに、</p>



	<p>どこの校区でも行くところがないということがないように再編を考えています。認可については、確かにクリアしていかないといけない部分がありますので、募集要項作成の時点でその辺りをクリアした条件で考えていくということで進めています。ですので、開園の時点では認可がおりているということをお願いしていくということで検討しています。</p>
委員	<p>◇次の民間事業者が入るにあたって、保護者の間でも継ぎ目のないように移行してもらいたいという意見が大多数です。いったん止めてしまっ、そこに入りたののに他の園に行かないといけないという状態ではなくて、継続して引継ぎというかたちにもって行ってほしいです。</p>
委員	<p>◇新しい施設ができて嬉しい方もいるし、幼稚園を望んでいたのに、公立がいいのに、と保護者にもいろんな思いをもった方がいます。その中で2月に説明して、4月に事業者を公募するという流れがスムーズに行くのかなと、すごく心配です。反対というよりも、心配とか不安な気持ちで保護者は思いを言ってくれるのではないかと前にもありましたが、この2か月で不安が安心につながっていくような方向性になるのかどうか、2月の説明会だけでどうなのかなと思います。また、民間の事業者が決まってできるだけ早い時点で、今の公立の職員との引継ぎが必要です。その辺のケアも公募のときに考えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>●方向性としては耐震の問題もあり、いろんなことを検討した結果、このスケジュールがいちばん最善ということで判断させていただきました。このスケジュールで進めていくための、より良いやり方を今後も検討していきたいと思っています。保護者に対しては説明会の中でも丁寧に説明させていただいたうえで、いろんなニーズがそれぞれあると思いますので、そこをしっかりと聞いていって、できる限りそのニーズにお応えできるような対応をしていきたいと考えています。職員の引継ぎについても、短いスケジュールの中にはなりますが、しっかりと公募の内容を整えて事業者の決定をしていくことで、適切に丁寧にやっていきたいと考えています。</p>
委員	<p>◇本来であれば0～5歳の全面改築でまずは環境を整えてというところで、このスケジュールだと中途半端な印象も残ってしまいます。耐震のことなど時間がないんですけど、より良い計画になるようにもうちょっと考えていくということも、まだ余地があるということでもいいんじゃないかな。</p>
事務局	<p>●事業者の公募、決定の時期は、今の園児の安全、安心を考えたときに、このスケジュールでいかにざるを得ないと考えておりますが、スタートのタイミングでどういうかたちがあるか、そういうところについては今後検討していかないといけないところで、早急に今も検討に入っています。</p>

委員	◇幼稚園の方は、耐震は大丈夫なんですか。築何年でしょうか。
事務局	●建築は昭和46年となっておりますが、耐震診断については二次診断まで受けており、数値をクリアしています。補強改修不要ということです。
会長	◇スケジュール的にはタイトなものがあるんですが、時間は少ないですが検討は十分していただいて、公募につなげていただければと思います。それでは、次第については終了し、事務局へお返しします。
<p>3. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	